

日本工営株式会社
株式会社マクニカ
芙蓉総合リース株式会社
芙蓉オートリース株式会社

**日本工営とマクニカ、栃木県足利市の中心市街地エリアで
自動運転バスを活用した実証実験を共同で実施
～芙蓉リースが車両提供で協力～**

日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：新屋 浩明、以下 日本工営）は、栃木県 県土整備部 交通政策課の「無人自動運転移動サービス実証検討調査業務委託」を受注し、株式会社マクニカ（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：原 一将、以下 マクニカ）と共同で、芙蓉総合リース株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：織田 寛明、以下 芙蓉リース）および芙蓉オートリース株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：長野 克宣、以下 芙蓉オートリース）から提供された自動運転バスを活用した実証実験（以下 本実証実験）を栃木県足利市で実施します。

本実証実験は2025年度に栃木県内の一部のバス路線で自動運転システムを導入した路線バスの本格運行を目指す「栃木県ABCプロジェクト^{*1}」の一環で、足利市の中心市街地エリアにおける周遊性を高める移動手段としての自動運転バスの活用可能性を検証するものです。

足利市の中心市街地には、国宝の鏝阿寺（ばんなじ）、日本遺産の史跡足利学校など、多くの歴史的観光資源が点在しており、車中心のまちからひと中心のウォークアブルなまちづくりへの転換が進められています。本実証実験ではJR足利駅および東武足利市駅を起終点とし、中心市街地エリアの観光施設周辺の歩車共存空間を周遊するルート、ハンドル・アクセル・ブレーキのない自動運転バスであるNAVYA社製「ARMA（アルマ）^{*2}」で運行します。



観光施設「太平記館」前に停車する自動運転バス ARMA（アルマ）

日本工営は、これまでの自動運転移動サービスに係る実証実験運営等の実績を生かし、本実証実験における自動運転バスの運行やそれに係る準備、効果検証を行います。

マクニカは、自動運転バスの運行、自動運転走行に必要なデータ取得・セットアップ、技術的資料・取得データを提供します。また、車両の走行データをマクニカ製遠隔監視システム「マクニカモビリティデータプラットフォーム^{*3}」に連携させることで、自動運転バスの走行情報を離れた場所でリアルタイムに確認することが可能になります。

芙蓉リースおよび芙蓉オートリースは、マクニカと3社で業務協定を締結した「自動運転実証実験支援サービスプログラム^{*4}」により自動運転バスを提供します。

【本実証実験の概要】

- 日 程 : 2023年3月18日(土)～3月27日(月)
- 時 間 : 9時～18時頃(1日12便)
- 自動運転車両: 自動運転バス ARMA
- 走行ルート : JR足利駅および東武足利市駅を起終点に、観光施設・商業施設を周遊するルート
(JR足利駅→東武足利市駅 約1.8km/東武足利市駅→JR足利駅 約2.9km)



■ 運行ダイヤ : 下表の時間帯に運行しています。

JR足利駅⇒東武足利市駅ルート		1便	3便	5便	7便	9便	11便
JR両毛線	小山方面から	8:50	10:13	11:43	13:43	14:43	16:45
	桐生・高崎方面から	9:11	9:46	11:43	13:43	14:43	16:16
JR足利駅		9:15	10:30	11:50	14:15	15:35	16:50
太平記館		9:25	10:40	12:00	14:25	15:45	17:00
東武足利市駅		9:40	10:55	12:15	14:40	16:00	17:15
東武伊勢崎線	館林・浅草方面 行き	9:55	11:28	12:26	14:53	16:04 ^特	17:37 ^特
	伊勢崎・太田方面 行き	10:04 ^特	11:02 ^特	12:25	14:53	16:05 ^特	17:29
東武足利市駅⇒JR足利駅ルート		2便	4便	6便	8便	10便	12便
東武伊勢崎線	館林・浅草方面 から	9:40	10:51	12:25	14:26	16:05 ^特	17:12 ^特
	伊勢崎・太田方面 から	9:39 ^特	10:51	12:26	14:39 ^特	16:04 ^特	17:14
東武足利市駅		9:50	11:05	12:30	14:50	16:10	17:25
織姫神社前		10:00	11:15	12:40	15:00	16:20	17:35
鑿阿寺前		10:10	11:25	12:50	15:10	16:30	17:45
足利学校前		10:15	11:30	12:55	15:15	16:35	17:50
JR足利駅		10:23	11:38	13:03	15:23	16:43	17:58
JR両毛線	小山方面行き	10:44	11:43	13:43	15:43	16:56	18:08
	桐生・高崎方面行き	11:03	11:43	13:43	15:43	16:45	18:08

列車の発着時刻は令和5年3月18日のダイヤ改正後のものです

特：特急

■ 参加方法 : 実験へのご参加は、栃木県ABCプロジェクトのHPをご確認ください。
<<http://abc-project.tochigi.jp/jissho.html>>

※ドライバーの検温、乗車前の車内アルコール消毒など、十分な新型コロナウイルス感染症対策に留意して実施します。

*1：栃木県ABCプロジェクト

栃木県では自動運転システム(Autonomous)を導入した路線バス(Bus)の本格運行を目指した挑戦(Challenge)を行っています。このプロジェクトでは、2025年度に栃木県内の一部のバス路線で自動運転システムを導入した路線バスの本格運行を目指し、2020年度から2023年度にかけて、県内10箇所で自動運転バスの実証実験を進めています。

栃木県ABCプロジェクトHP：<http://abc-project.tochigi.jp/index.html>

*2：自動運転バスARMA（フランスNAVYA社製）

ARMAは自動運転システムを搭載した自動運転シャトルバスです。EV（電気自動車）仕様となり、1回の充電で約9時間（100km）の自動走行が可能です。

全長：4,750mm

全高：2,650mm

全幅：2,110mm

重量：2,400kg

車両総重量：3,450kg

乗客人数：最大10人

動力源：電動モーター

最高速度：19km/h（運行時は平均速度10km/h程度）

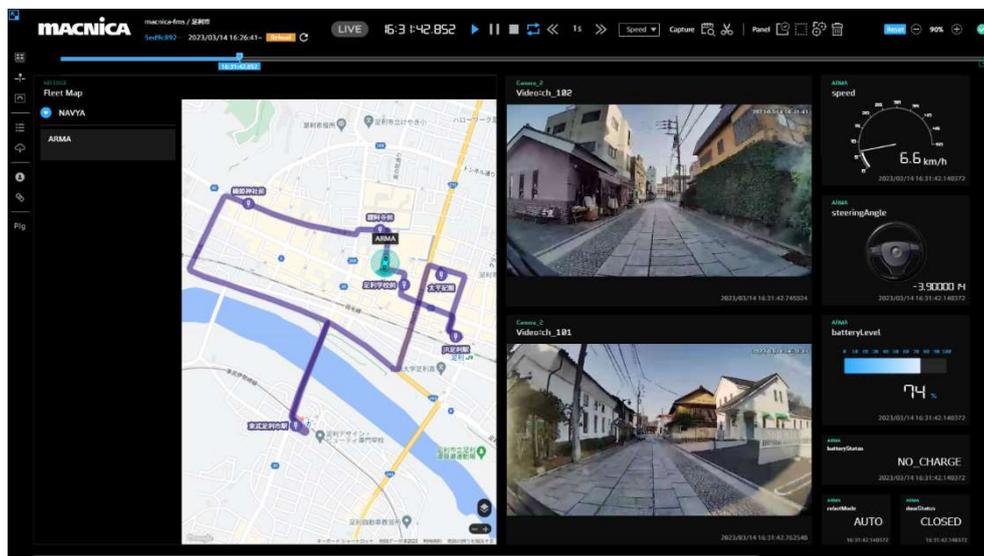
自動運転レベル：レベル2

その他：緊急時は同乗のドライバーが手動介入



*3：マクニカモビリティデータプラットフォーム(遠隔監視システム)

車両に取り付けられたセンサー(GPS、カメラ等)と車両のCAN情報(車速、回転数、ステアリング舵角等)を収集し、高品質な伝送方式を用いてクラウドへデータを保存することで、監視者1人が遠隔からクラウドにアクセスし、リアルタイムで複数車両のモビリティの状況確認ができます。その他、蓄積されたデータから過去の状況確認、データ分析、AI活用にも応用できます。遠隔監視システムの活用により、社会課題の働き手不足の解消を目指します。



*4：自動運転実証実験支援サービスプログラム

マクニカと芙蓉リースおよび芙蓉オートリースが共同で構築したサービスプログラム。詳細は以下URLをご参照ください。[\(https://www.macnica.co.jp/business/maas/news/2021/136501/\)](https://www.macnica.co.jp/business/maas/news/2021/136501/)

※本文中に記載の製品名は、各社の商標または登録商標です。

※ニュースリリースに掲載されている情報（製品価格、仕様等を含む）は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがあります。

<本実証実験に関するお問い合わせ先>

日本工営株式会社 交通政策事業部 交通都市部
e-mail : ml-autonomous-tochigi@dx.n-koei.co.jp

株式会社マクニカ モビリティソリューション事業部
TEL : 045-470-9118
e-mail : auto-solution@macnica.co.jp

日本工営株式会社 について

日本工営グループは、世界中の人々の安全・安心を支える国内 No.1 の建設コンサルタントです。1946 年の創業以来、日本の建設コンサルティングのリーディングカンパニーとして社会基盤の整備を事業として社会課題解決に携わり、160 以上の国と地域において国づくり・人づくりの根幹に関わるサステナブルなビジネスを展開しています。詳細はWebサイト (<https://www.n-koei.co.jp>) をご覧ください。

株式会社マクニカ について

マクニカは、1972 年の設立以来、最先端の半導体、電子デバイス、ネットワーク、サイバーセキュリティ商品に技術的付加価値を加えて提供してきました。従来からの強みであるグローバルにおける最先端テクノロジーのソーシング力と技術企画力をベースに、AI/IoT、自動運転、ロボットなどの分野で新たなビジネスを展開しています。「Co.Tomorrowing」をスローガンに、最先端のテクノロジーとマクニカが持つインテリジェンスをつなぎ、ユニークなサービス/ソリューションを提供する存在として、社会的価値を生み出し未来社会の発展へ貢献していきます。当社は、横浜に本社を構え、世界24ヶ国/地域80拠点をベースにグローバルなビジネスを展開しています。詳細はWebサイト (<https://www.macnica.co.jp>) をご覧ください。

芙蓉総合リース株式会社・芙蓉オートリース株式会社 について

芙蓉リースグループは、2022年度からスタートした新中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV (Creating Shared Value : 共有価値の創造) の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとしての持続的な成長を目指しております。また、経営資源を集中投下する成長ドライバーのひとつに「モビリティ」を位置付け、車両領域と物流領域を中心に、パートナー連携を軸としたワンストップ型サービスを国内外で展開することにより新たなビジネス領域を拡大してまいります。詳細はWebサイト (<https://www.fgl.co.jp>) をご覧ください。

<本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先>

日本工営株式会社 <https://www.n-koei.co.jp/>
コーポレートコミュニケーション室 e-mail : c-com@n-koei.co.jp
〒102-8539 東京都千代田区麹町5-4

株式会社マクニカ <https://www.macnica.co.jp/>
コーポレートマーケティング統括部 広報室 宮原 e-mail : macpr@macnica.co.jp
〒222-8561 横浜市港北区新横浜 1-6-3 マクニカ第1ビル

芙蓉総合リース株式会社 <https://www.fgl.co.jp/>
コーポレートコミュニケーション室 担当 : 木村・山崎 TEL 03-5275-8891
〒102-0083 東京都千代田区麹町5-1-1 住友不動産麹町ガーデンタワー

芙蓉オートリース株式会社 <https://www.fuyoauto.co.jp/>
EVビジネス部 TEL : 03-5275-2950
〒102-0083 東京都千代田区麹町5-1-1 住友不動産麹町ガーデンタワー